

# ドロスポーリーのカルト

Cult of Drospoly

冷たき死

d t \* z

かの女の唇は赤く、かの女の表情はくつろいでいた  
かの女の髪は黄金のごとく黄色く  
かの女の肌は病のごとく白かった  
悪夢 - 死の中の生 - は彼女であり  
冷気と共に男の血が集まっていた

これはコープラーの海岸において見捨てられたノロスの船員の最後の言葉である。彼は書きとめた後すぐに自殺した。彼はノロスの船、聖ゼメラ号の唯一の生き残りであり、噂によれば船は海の怪物が敵対的な魚人たちに沈められたという。

## 1 . 神話と歴史

ドロスポーリーは恐るべき怪物であり、死の冷たき手であり、海の最深部に出没する絶望である。彼女の起源は知られていない。と一緒に、彼女は海の神々の闇の副神殿を形成しており、それにより彼女は他の二神と共通の起源を有しているのかもしれないと（推測される (hypotized) ）、

魚人たちはドロスポーリーの存在と彼女の強大な恐怖を認めている。彼らは彼女を直接礼拝することはないが、来る年も彼らの生活をドロスポーリーが容赦してくれるよう、毎年生け贄を捧げている。生け贄が少しでも効果を持っているのか、何も知られてはいない。グナイドロンとイサツバウは彼女の力と引き換えに彼女を直接礼拝しているとの評判である。第2期の終わりの頃、ドロスポーリーの礼拝はウェアタグ人が“中央海洋帝国”に対する戦争のために取り入れた。こうしたが、大閉鎖が海から全ての航海を一掃した時、どのような助けもなくなってしまった。

ドロスポーリーは「暗黒」「死」「運命」「水」のルーンと関係がある。社では、《塩水》を教えている。

## 2 . 入信者

**必要条件**：志願者は溺れた生物を助けないという誓約をし、1ポイントのPOWを捧げ、海に住む知性ある生き物をドロスポーリーに捧げなければならない。

**精霊魔術**：《暗闇の壁》《消沈》《検知(生命)》《消火》《にかわ》《第二の目》《減速》

## 3 . 司祭

**必要条件**：通常の司祭条件に加え、志願者は90%以上、以下の技能を有していなければならない；(任意の武器)攻撃 浄化 召喚。また、指導者のPOWと同じ数の海に住む知性ある生き物を捧げることにより、指導者に彼の罪の自覚と悪意ある性質を証明しなければならない。

**一般神性魔術**：《呪縛呪付》《神託》《聖別》《霊視》《精霊遮断》《隔離》《礼拝(ドロスポーリー)》

**特殊神性魔術**：《支配(ゴースト)》《支配(レイス)》《支配(半物質的ゴースト)》《支配(感情精霊)》《創造(ゴースト)》《創造(レイス)》《創造(半物質的ゴースト)》《絶望》《塩水》《沈没》

## 4 . ドロスポーリー特殊神性魔術

《創造(半物質的ゴースト)》 Create Semi-Corporeal Gorst

2ポイント、儀式(呪付) 複合不可、再使用可

この呪付儀式呪文は、Strangers in Plax のサブリメントに記述されているような半物質的なゴーストを創造する。ゴーストは特別な場所や特別なアイテム、直接術者の周囲などに呪縛することができる。

《絶望》 Despair

3ポイント、遠隔、瞬間、複合不可、再使用可

この呪文は完全な絶望の状態になるのを犠牲者に引き起こす。術者はMPの抵抗に打ち勝たなければならない。成功したら、対象は自殺をするために可能な意味のある方法を取る。もし対象が縛られていたり、他の何らかの方法で自殺を妨害されたら、対象は最初に猛烈に抵抗し、その後死ぬために餓死を試みるでしょう。抵抗を打ち破れないとしても、対象は《消沈》する。抵抗ロールの目がファンブルだった場合、効果はない。

《塩水》 Salt Water

1ポイント、遠隔、瞬間、複合不可、再使用可

この呪文は、術者の10m周囲の全ての水を塩水に変え、水を飲めなくする。特別な魔法的な水や神聖な水は、ゲームマスターが適切だと思った場合にのみ、影響を受ける。

## 5 . 友好カルト

ヴァーチュランガ

“怪物の母”は《支配(海獣)》を提供する。

ワチャーザ

“大海の戦争王”は《溺死》を提供する。

## 6 . この文章について

著者：Antti Rasila

翻訳者：R I Z E / 奥田和幸(zorak@nifty.com)

協力：村瀬尚之氏

この文章は、著者 Antti Rasila 氏が記述したものを、R I Z E が翻訳したものです。非営利の利用に限り、複製が許可されます。他媒体への転載については、R I Z E にご相談下さい。

訳文におかしな点があるかもしれませんが、その際は、遠慮なしにご指摘ください。よろしくお願ひします。

この文章は公式版ではありません。この文章を使用するにあたっては、各人の判断でご利用ください。この文章の使用により、何らかの害があったとしても、著者並びに翻訳者、協力者は関知しません。